

シリーズ「転倒災害を防ぐ」

(その2) 滑りによる転倒災害の対策

転倒災害の原因として、前回はずまずきを挙げましたが、今回は滑りについて。滑りの原因と対策をまとめました。

●凍結した通路で滑って転倒

業務終了時の終礼で、翌日の天気や最低気温や、通路の凍結しやすいところについて、声をかけ合っておきましょう。

融雪剤を職場で準備しておくのもおすすめです。

雪が積もったり凍結したりしているところを歩くときは、体の重心を前に、歩幅を小さく、足の裏全体で着地する、といういわゆる「ペンギン歩き」をするとスリッパしにくくなります。



●作業場や通路にこぼれていた水・洗剤・油により滑って転倒

水・洗剤・油がこぼれていることのない状態を維持しましょう。

清掃中は立入禁止の表示を行い、

清掃後に乾いたことを確認してから立入禁止を解除しましょう。

●濡れているのが通常である作業場で滑って転倒

濡れているのが通常である作業場では、

滑りにくい履物を履いたり、

滑りにくい床・グレーチング(穴や溝をふさぐ格子状の金属製のフタ)に変更したりしましょう。

また、濡れている作業場と隣接したエリアまで濡れないように注意しましょう。

●雨で濡れた通路で滑って転倒

敷地内で雨のときに滑りやすくなることを確認して、

滑らないようにする対策を行いましょう。